

令和3年度 授業改善推進プラン

氏名（ 小野 啓子 ）

担当教科（ 理科 ）

学年（ 1学年 ）

学力調査・アンケート等の課題分析

【質問紙調査】

・他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている、授業の振り返る場面がある（あまり当てはまらない：4名（15%））

授業のねらいの提示、自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている、学ぶ楽しさの実感（あまり当てはまらない：2名（7%））

【区学力調査】

・「基礎」的なことを身に付けている生徒も多い。今後「基礎」の力を「活用」していくことが課題である。

授業等の課題分析

・自然科学に対して興味・関心が高い生徒が多い。一方で、継続してじっくり取り組むことが苦手な生徒もいる。授業にメリハリをつけ、落ち着いた雰囲気をつくっていくことが課題である。



目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。



授業改善のための具体的な方策

- 授業の流れや実験室でのきまりを定着させ、安全に配慮して、取り組む環境を整える。
- 実験・観察の目的（授業のねらい）や流れをより明確にし、学習内容の振り返りを充実させる。
- 科学的な見方や考え方はたらかせて、課題を解決するための話し合い活動を充実させる。
- 科学的思考力を高めるため、「結果」と「考察」を書き分ける指導を引き続き徹底する。
- 日常生活の中にある「意外性」に気付かせる（予想できるのに結果が予想と違うなど‘どうして?’と思える）工夫をし、主体的に「学ぶ楽しさ」を実感できるような場面を多く設定する。
- 既習事項の定着をはかるため、学習内容と関連付けたり、復習の時間を確保する。

令和3年度 授業改善推進プラン

氏名 (小野 啓子)

担当教科 (理科)

学年 (2学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

質問紙調査】

- ・他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている (あまり当てはまらない: 5名 (17%))
- ・自分の考えを書いたり、発表したりする機会が与えられたりしている (あまり当てはまらない: 1名 (3%))
- ・授業のはじめに、授業のねらいが示されている、板書や資料がわかりやすい、「わかった」「できた」と感じる機会があり、わかりやすい、「学ぶ楽しさ」を感じる (あまり当てはまらない: 3名 (10%))


授業等の課題分析

- ・学習に対する意欲は高い。特に、課題に対する自分の考えを立て、今までの経験や学習したことをもとに考え、話し合い活動では、積極的に発言する雰囲気がある。その一方で、自分の考えを書くことに苦手意識をもっていたり、取りかかるまで時間がかかる生徒への手立てが必要と考える。



目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。



授業改善のための具体的な方策

- 今後も安全に配慮して、取り組む環境を整える。
- 見通しをもって実験・観察に取り組めるように、実験の計画や予想しながら進める。
- 実験・観察の目的 (授業のねらい) や流れをより明確にし、学習内容の振り返りを充実させる。
- 科学的思考力を高めるための実験・観察レポート指導を充実させる。(継続)
- 他人の考えを取り入れたり、自分の考えを広げられたと生徒が実感できるように、話し合い活動などで、他人の意見を聞いた後に自分の考えを練り直す時間を確保する。
- 規則性や原理などが日常生活や社会で活用されていることにも触れ、「学ぶ楽しさ」を実感できるような場面を設定する。

令和3年度 授業改善推進プラン

氏名 (小野 啓子)

担当教科 (理科)

学年 (3 学年)

学力調査・アンケート等の課題分析

【質問紙調査】

- ・他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている (当てはまる、まあまあ当てはまる : 21 名 (100%))
- ・授業のはじめに、ねらいが示されている、授業の最後に振り返る場面がある (当てはまる、まあまあ当てはまる : 21 名 (100%))
- ・「わかった」「できた」と感じる場面があり、わかりやすい、「学ぶ楽しさを感じる」 (あまり当てはまらない、当てはまらない : 3 名 (14%))

【領域別の結果】

既習事項の定着が不十分である。

授業等の課題分析

- ・学習に対する意欲は高い。
- ・自分の考えを深め、広げられるように「予想→話し合い活動・結果→考察」の流れで、行ってきた。

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

授業改善のための具体的な方策

- 今後も安全に配慮して、取り組む環境を整える。
- 実験・観察の目的 (授業のめあて) や流れをより明確にし、学習内容の振り返りを充実させる。(継続)
- 科学的思考力を高めるための実験・観察レポート指導を充実させる。特に、探究の振り返りでは、課題を意識しながら、結果を分析・解釈することに重点を置いて指導をする。
- 3年間の学習内容の定着をはかるため、現在の学習内容と関連する分野と関連付けて復習したり、適宜復習の時間を確保する。